

チェーン式ゲート駆動装置

LCMシリーズ 自重降下機能付

設計仕様

- ダム・堰施設技術基準(案) 準拠
- 水門鉄管技術基準 準拠
- 高効率・省エネ設計

操作

- 電動・手動の切換え不要の簡単操作
- 自重降下はレバを押せば降下、戻せば停止のワンタッチ式(オートリターンタイプ)
- リミットスイッチ、発信機、端子台を同一ボックス内に収納し調整が容易

機能

- 自重降下機能付
- いたずら防止用ロック装置付(ハンドル、自重降下レバ)
- 二重制動機構による確実な制動
- 開過負荷保護装置付
- 弛み検出装置付
- 手動装置時の過負荷保護装置付
- 実績のある確実で調整容易なりミットスイッチ付
全閉・全開(非常上限・非常下限)
- 開閉機一体型の操作盤取付可能(押しボタン式標準)



■LCMシリーズの主な仕様【吊り方式:直吊り式】

項目		形式	連動形								
			LCM-100W	LCM-150W	LCM-200W	LCM-300W	LCM-400W	LCM-500W	LCM-600W	LCM-700W	LCM-800W
開閉能力W (kN) 注1			100	150	200	300	400	500	600	700	800
開閉速度	電動時 (m/min)		0.3								
	手動時 (cm/30rev)		0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
モータ出力 (kW)			0.8	1.2	1.6	2.5	3.2	4.0	5.5	5.5	6.5
手動操作力 (N)			100N以下								
最小降下力 (kN) 注2 注3			20	30	40	60	80	100	120	140	160
最大降下力 (kN) 注2 注4			70	105	140	210	280	350	420	490	560
自重降下速度 (m / min)			6以下 (降下力によって異なる)								
スプロケットP.C.D. (mm)			185.66	238.81	238.81	270.47	315.5	392.55	392.55	410.98	410.98
チェーンサイズ			180-1列	180-2列	180-2列	280-2列	280-2列	320-2列	320-2列	400-2列	400-2列
周囲温度 (℃)			-10～+50℃ (但し、自重降下を除く)								
保護構造			屋外形IP55 (JIS C9020 IEC529)								
本体質量 (kg) 注6			1700	2700	2700	4300	5600	10600	10700	15000	15000

■LCMシリーズの主な仕様【吊り方式:動滑車式】

項目		形式	連動形							
			LCM-900W	LCM-1000W	LCM-1100W	LCM-1200W	LCM-1300W	LCM-1400W	LCM-1500W	LCM-1600W
開閉能力W (kN) 注1			900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600
開閉速度	電動時 (m/min)		0.3							
	手動時 (cm/30rev)		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
モータ出力 (kW)			7.5	8.5	9	10	11	11.5	12.5	13
手動操作力 (N)			100N以下							
最小降下力 (kN) 注2 注3			180	200	220	240	260	280	300	320
最大降下力 (kN) 注2 注4			630	700	770	840	910	980	1050	1120
自重降下速度 (m / min)			6以下 (降下力によって異なる)							
スプロケットP.C.D. (mm)			392.55	392.55	392.55	392.55	410.98	410.98	410.98	410.98
チェーンサイズ			320-2列	320-2列	320-2列	320-2列	400-2列	400-2列	400-2列	400-2列
周囲温度 (℃)			-10～+50℃ (但し、自重降下を除く)							
保護構造			屋外形IP55 (JIS C9020 IEC529)							
本体質量 (kg) 注6			13000	13000	13000	13000	16000	16000	16000	16000

注1) 開閉能力は、最大吊り上げ力を示します。従って **扉体総質量+最大接触抵抗力(摩擦力) < 開閉能力** となるように水門の設計を行う必要があります。

注2) 降下力は扉体を自重降下させるための重量を示します。従って **扉体総質量-最大抵抗力(摩擦力や水の抵抗力)** となります。

注3) 最小降下力は、自重降下可能な最低重量を示します。扉体重量が軽い場合や水の抵抗等により自重降下荷重が最小降下力を下回る場合は自重降下しない恐れがあるため、必要によってはゲートにウェイトを付加する等の対策を行って下さい。

注4) 最大降下力は、自重降下可能な最大重量を示します。扉体重量が重く上記最大降下力を超える場合は、別途ご相談下さい。

注5) 設計値を含むため、詳細はお問い合わせ下さい。

注6) 本体質量に機械台は含んでいません。